

令和6年度 ひょうご農商工連携ファンド採択事業者一覧 【6年度 新規9件】

	事業名	連携体構成員名 (◎は代表者)	事業内容
1	淡路島のシンボル「タマネギ」を使ったオリジナルカレーの開発	◎(株)Mandrillus (マンドリル) (神戸市)  はなすずファーム (南あわじ市)	カレー関連商品を企画開発する(株)Mandrillus (マンドリル)と、タマネギ農家はなすずファームが連携。淡路島産タマネギをふんだんに使用したウィーガン対応のレトルトカレーを開発する。
2	淡路島産の無農薬・有機栽培ハーブを活用した乾燥・精油加工商品の開発	◎mochitsu motaretsu (モチツモタレツ) (洲本市)  ちょうけいじ農園 (淡路市)	飲食業・蒸留家・有用植物研究家のmochitsu motaretsu (モチツモタレツ)と、ハーブ農家ちょうけいじ農園が連携。規格外ハーブを有効活用して、 ①料飲用乾燥加工品 (ドライハーブ、ハーブティなど) ②フレグランス用精油加工品 (エッセンシャルオイル、おしぼり用スプレー)を開発する。
3	兵庫県産有機米を活用した「米粉クッキーの無添加ジェラートサンド」の商品開発及びブランド創造事業	◎株式会社モンテロッサ (神戸市)  松崎農場 (神崎郡)	イタリアンレストラン・ジェラート製造業を行う(株)モンテロッサと、有機農産物を栽培する松崎農場が連携。県産米米粉を使用した、米粉クッキーの無添加ジェラートサンドを開発し、グルテンフリー志向や小麦アレルギーに対応していく。さらに県産の農産物を活用することによって「ひょうごブランド」のひとつとなることを目指す。
4	“播州牛”等のブランド牛を使った肉加工品の新商品開発	◎株式会社神戸井相田牧場 (加古川市)  バニラシティ株式会社 (神戸市)	畜産農家の(株)神戸井相田牧場と、イベント企画・企業プロモーション事業を行うバニラシティ(株)が連携。精肉販売を行う上で、余剰部位・端材を原材料とする肉加工品の開発に取り組み、一頭の牛のすべての部位を有効活用する。さらに認知度のある神戸牛や但馬牛と一緒に、オリジナルブランド牛の“播州牛”を使用することでブランド力の向上や小売事業の販路拡大を目指す。

	事業名	連携体構成員名 (◎は代表者)	事業内容
5	兵庫県産木材を利用したインダストリアルなウッドとアイアンの商品開発	◎株式会社西村 (神戸市)  株式会社神戸熔工 (神戸市)	林業者の(株)西村と、鉄製造業の(株)神戸熔工が連携。 国産木材と鉄素材の特質を活かして、木製品では組み立てが困難な部分を鉄製品でサポートすることにより簡単に組み立てられて設置スペースに合わせた消費者の目を引くオーダーメイド商品作りに挑戦する。
6	低・未利用資源(3年とらふぐ皮)を使った新商品の開発と、マリンコラーゲン抽出技法を確立し、食品加工への応用化を図る。	◎若男水産株式会社 (南あわじ市)  ネクストキャンドフーズ株式会社 (たつの市)	トラフグ、サクラマス等の養殖・加工業者の若男水産(株)と、食品製造業のネクストキャンドフーズ(株)が連携。 「淡路島3年とらふぐ」の需要増加に伴い、加工時に大量に発生する低・未利用部分「とらふぐの皮」を原材料とした新たな水産加工品の開発と、マリンコラーゲン抽出方法の確定を目指す。
7	兵庫県産の茶葉から弱発酵茶「白茶」の開発	◎出石一葉 (イズシイチカ) (豊岡市)  株式会社本家熊野園 (丹波篠山市)	飲食店・茶類販売業者の出石一葉と、茶葉生産農家の(株)本家熊野園が連携。 抗酸化作用・抗ウイルス性などの健康効果が実証されている中国茶の一種で弱発酵茶『白茶』を、兵庫県産の「やぶきた種及び在来種」で生産する。
8	兵庫県産はちみつを使ったクラフトコーラの開発と市場醸成	◎Café食堂Lodge (カフェシヨクドウロッジ) (西宮市)  有限会社俵養蜂場 (神戸市)	飲食店を経営するCafé食堂Lodgeと、養蜂業の(有)俵養蜂場が連携。 クラフトコーラ向けシロップの甘味部分を兵庫県産はちみつに置き換える。外国産はちみつとの価格競争力がない国産はちみつに、他の付加価値を付けて販売するために加工品の製造販売事業を目指す。
9	佐用もち大豆新商品開発事業(大豆ミート・フリーズドライ)	◎株式会社元気工房さよう (佐用町)  佐用もち大豆振興部会 (佐用町)	地理的表示(GI)を取得した佐用町産の佐用もち大豆を活用した「大豆ミート」「フリーズドライ」を開発する。